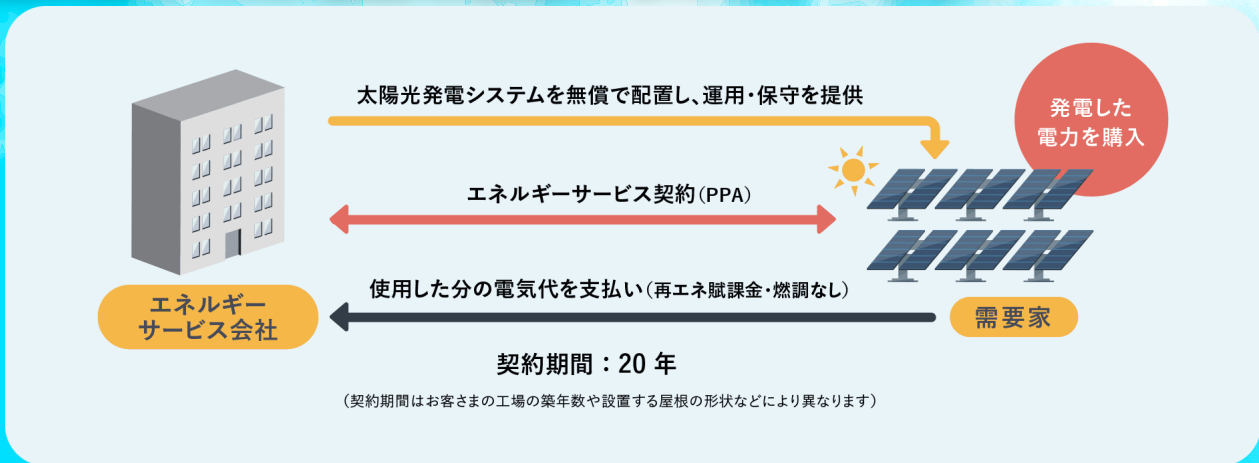


カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現・PPAモデルのご提案

PPAモデルとは
 初期投資0円で弊社が発電設備を設置しその電気を利用することで
 ・電気料金とCO2排出を削減することができます



PPA (Power Purchase Agreement) とは電力販売契約という意味で第三者モデルともよばれます。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO2排出の削減ができます。設備の所有は第三者(事業者または別の出資者)が持つ形となりますので、資産保有をすることなく再エネ利用が実現できます。

メリット① CO2削減

CO2を排出しないクリーンエネルギー。
 RE100やSDGsなどの環境経営の推進に貢献
 省エネ・省CO2効果は貴社の削減分として
 換算可能



画像出所：首相官邸HP

グリーン社会の実現

120か国以上がコミットする
 2050年までのCO2排出実質ゼロ
 (カーボンニュートラル)を
 日本も宣言

2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

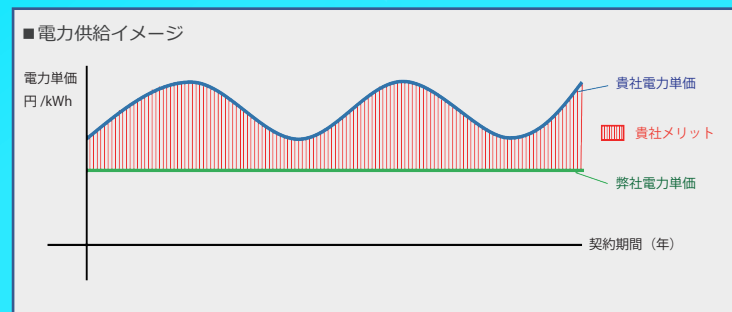
～(中略)～

省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を確立します。

(内閣総理大臣所信表明演説 2020年10月26日)

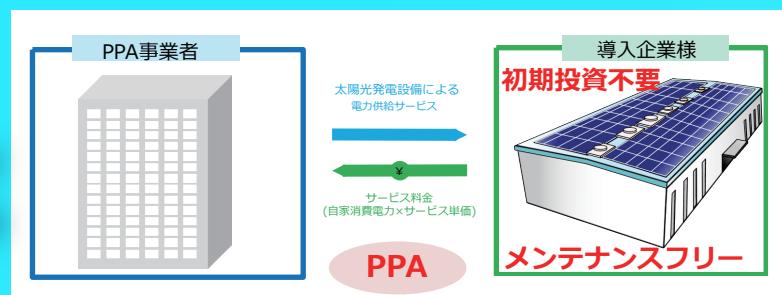
メリット② 電力単価削減

外的要因の変動に関わらず、
 一定単価の電力を調達可能
 再エネ賦課金・燃料調整費用なし



メリット③ 初期投資不要 メンテナンスフリー

初期投資不要でメンテナンスは弊社で行うため、貴社での太陽光発電設備の維持管理も不要



メリット④ 地元企業 + 太陽光設置トップクラス企業とのタッグ

きたい以上のことを **Q-SAN** 九酸・直方ガス企業グループ × **TESS** テス・エンジニアリング

1. 補助金申請

テス・エンジニアリング(株)様とタッグを組むことで、トップクラスの採択率

2. 一次対応

筑豊エリアを中心とした地元企業のため、スピード感を持った対応が可能

3. 価格交渉力

多数の実績があるため価格交渉が可能、競争力のある価格をお客様に提示可能

メリット⑤ 補助金 環境省二酸化炭素排出抑制対策事業補助金

補助対象設備	基準額			
太陽光発電設備	定額	4万 [円/kW]	「自己所有」「その他のオンサイトPPAモデル」 「その他のリースモデル」	× 太陽電池出力 [kW]
		5万 [円/kW]	「オンサイトPPAモデル」「リースモデル」	
定置用蓄電池	定額	5.3万 (業務・産業用**) または 4.7万 (家庭用**) [円/kWh] × 蓄電容量 [kWh] と間接補助対象経費に3分の1を乗じて得た額とを比較して少ない方の額		
車載型蓄電池	定額	蓄電容量 [kWh] × 1/2 × 4万 [円/kWh]		
充放電設備	2分の1	機器費		
	定額	設置工事費 (上限額: 1基あたり業務・産業用95万円、家庭用40万円)		

蓄電池の設置は必須。

補助金の交付額の上限: **2,000万円**

CO2削減量・CO2削減率・自家消費電力割合等が採択のポイント
 将来的には大型の蓄電池が必要になる可能性有り

設置例 (屋根、カーポート、遊休地)



お気軽にご相談ください!